

沖縄国際大学沖縄経済環境研究所

平成 29 年度 第 3 回研究会

沖縄における電力自由化の現況と エネルギーシフトへの期待

【概要】

わが国は 2016 年 4 月から電力小売り全面自由化が開始され、2 年近くが経過しましたが、沖縄の電力自由化が進展していません。経産省の電力自由化の目的は、安い電力の供給による経済振興と国民生活向上への貢献であります。国内の電力会社のスイッチング件数は、11 月末現在で 577 万件に達していますが、県内は 50 件を超えた程度です。また、沖縄は人口増により電力消費量も若干増えていますが、電力を石炭・LNG・石油など化石燃料だけに依存することなく、エネルギー政策、温暖化防止の観点でも再生可能エネルギー電源を増やすことも求められます。今研究会で沖縄の現況を知り、電力自由化、エネルギーシフトについて考えていきます。

日 時：2018(平成 30)年

1 月 18 日 (木)

16 時 20 分～17 時 50 分

場 所：沖縄国際大学

13 号館 1 階研究所会議室

対 象：学生・一般・教職員

備 考：申込不要・参加無料

◆◇研究会講師◇◆

たま え あきひろ
玉栄章宏 氏

宮崎大学工学部工業化学課を卒業後、沖縄石油精製（株）入社。平成 16 年に退職し、（有）きらら総合企画設立
現在、取締役社長
沖縄県振興審議会委員
沖縄県中小企業家同友会理事・ゆいまーる部長
環金武湾地球温暖化対策地域協議会事務局長など公職多数